

シンポジウムで出された質問及び意見

質 問

1 基調講演（もしくは講師）

- ・ 「手厚い保育や幼児教育を受けた者は将来により良い影響をもたらす事実」を実証したアメリカの調査について読んでみたいので教えてほしい。

2 「子ども・子育て支援新制度」に関する概要説明

● 特に多かった質問項目

(1) 新制度について（できた背景は分かったが、具体的に何が変わるのか分からない。）

- 消費税が4月から上がるが、具体的に何が変わるのか。給付金がくるだけなのか、新しい施設を作るのか。
- 保育園は役所に、幼稚園（認証を含む）は各園に申請するなら、今と変わらないのではないのか。認定子ども園も園に申請するなら、書類が増える程度ではないのか。
- 施設型給付はどれを利用しても区分が同じなら料金は変わらないのか。地域型保育はどうなのか。
- 区内の保育施設は、無認可を含めて全て給付の対象となるのか。ならない場合、区からの補助はあるのか。

(2) 「幼保連携型認定子ども園」について

- 幼稚園と保育園とでは管轄が違うが、この点をどのように解決していくのか。
- 新制度施行により、「保育所指針」と「幼稚園要領」の一体化はあるのか。具体的に保育内容はどのように変化していくのか。
- 新しく施設を作るのか、既存の保育園や幼稚園を認定子ども園化していくのか。
- 認定こども園化しないと支援が受けられないのか。
- 全ての施設を認定こども園にするわけではないのなら、利用者は違いをどうやって認識するのか。
- 保育園の保育料は保護者の収入によって変わるが、幼稚園は各園の事業によって変わる。この点をどのように改定するのか。
- 墨田区は具体的な動きがあるのか。5年以上前から動いているのに、遅いのではないのか。具体的な話を詳しく聞きたい。
- 基調講演にもあったとおり、多忙でストレスの多い社会の中、保育園生活の中でもゆっくり丁寧な保育をする余裕がなくなっている。この現状の中、「認定子ども園」という形ではなく、既存の保育園と幼稚園が各々の質を高め、別の形で地域の子育ての質を上げていくような方向にはいかないのか。

(3) 保育の向上もしくは質の高い保育について

- この実現のためには、個々の保育士の保育力向上が不可欠、保育士の研修等にも財源が当てられ

るのか。現状では保育士の国家資格の地位が低すぎる。

- 新制度の内容は充実していて良いものだが、それを運営していく上で保育士の質の確保（教育を含む）はどうなっていくのか。
- 提供者や教員・指導員への支援はないのか。
- 施設の量は拡充できるが、「質の向上」をどう確認していくのか。当初は良くても数年後に環境が悪くなる場合などもあると思う。
- 8パーセントの消費税増税の財源で、保育の質まで確保できるのか。
- 「質の高い保育」求めるのに、様々な型の施設があるのは何故か、複雑で理解できない。全ての子どもが同じ保育を受けられるようにするのが国の役目、そのためには認可園を増やすべきだと思う。

● その他の質問

- ・ 現在、認可保育園に子どもを預けているが、新制度が始まったら、保育の必要性の認定事由や指数を再計算され、標準/短時間の区分も変わるとのこと、より現状に相応しい園に転園させられてしまうのだろうか。
- ・ 新制度は果たして「良い教育」といえるのか。教育費も日本は先進国内では最低で、これで子どもの成長が良いと考えられるのか。
- ・ 幼稚園や保育園は園庭やプール・遊具等が充実しているが、それ以外の保育施設は運動面や季節に対応した教育をどのように展開していくのか。（地域の公園は現在、無認可保育所の子どもたちであふれかえっているらしい。） ※ 同様の意見あり
- ・ 「居宅訪問型保育」（レジュメP6）の内容を知りたい。個人や民間事業者が担うという認識でいいのか。
- ・ レジュメP16の「Aグループ10点」「Bグループ9点」は何を意味するのか。必要度を点数化してものなのか。
- ・ 「待機児童の解消のためだけの制度ではない」とのことだが、予算の内訳はどうなっているのか。
- ・ 新制度の対象年齢は何歳までなのか。子育ては子どもが社会に育つまで連続していると思うが、最も費用がかかる時期での児童手当の打ち切りや思春期の子どもについて相談する場が少ないなど、成長してからのフォローが薄いように感じる。 ※ 同様の意見あり
- ・ 新制度は専業主婦である母親にとって、どんなメリットがあるのか。一例では、近場の一時預かりはやむをえない場合のみ受け付けるなど、専業主婦は恩恵にあずかれないと感じている。
- ・ 新制度の恒久財源について触れられたが、新聞紙上では4000億円という数字が出ていた。見通しはあるのか。それによって制度の中身が縮小することはないか。

3 「墨田区子ども・子育て会議」に関する概要説明

- ・ 「保育の質の向上」についてどのように話されたのか。「質」は、現状はどうで、どのような方向に向かっていこうとしているのか、知りたい。

意見

1 基調講演について

- ・ とても分かりやすく、貴重で有意義なひと時を過ごせて感謝している。幼児期の子育ての大切さを再確認すると共に、自分自身の子育ては適切だったと感じられた。
- ・ 先生のお話を聞くことができ良かった。基調講演を期待していたので、もっと長くしてほしい。
- ・ とても参考になった。自分だけではないと安心した。

2 「子ども・子育て支援新制度」に関する概要説明

- ・ 「保育の質が大事」であるなら、子どもが生活する環境を整える必要があると思う。
(施設のスペース、園庭、人材の確保、など)
- ・ 利用者側（保護者）への支援かもしれないが、子ども側の成長や発達は考えられていないと思う。

3 「墨田区子ども・子育て会議」に関する概要説明

(質問に集約)

4 その他の意見

- ・ 子ども・子育て会議のメンバーと行政職員によるシンポジウムという事自体、素晴らしいと思う。(日野市在住の聴講者)
- ・ 児童館でボランティア支援をしているが、電子ゲームは害が多いと感じる。館では電子ゲームは禁止し、集団で行い物を大切にすることを養い完全エコなアナログゲームを行うべきだと思う。
- ・ 墨田区に3歳からの受け入れ公立幼稚園がないのは何故か。延長制度を作ること、保育園に入らずとも働ける母親が増えるのではないか。
- ・ 現在の一時保育では、泣き叫ぶ子どもを預ける現状も見受けられる。子どもの気持ちが考えられているのだろうか。
- ・ 児童クラブの朝の受け入れは検討されていないのか。
- ・ 今回の講演については、説明不足を感じる。プログラムやスケジュールが分からなかった。
- ・ 区内では高層・大規模マンションの建設など再開発が進んでいるが、人のつながりを作っていけるかも積極的に考える必要がある。地域力の育成もぜひすすめてほしい。

例；社協の拠点が増える、大規模マンションに施設が入りコミュニティを育む

地域拠点施設を確定及びそこへのコミュニティーソーシャルワーカー配置予算の設定

子育て支援コーディネーターによるネットワークづくり など